

開催期間

2026年 10月16日(金)

▶ 12月19日(土)

企画展

食

時

代

だい にほん ぶつ さん ずえ
『大日本物産図会』にみる
「食」「時代」「人々」
——第三回「日本のものづくり——明治の殖産興業」——



▲ 肥前伊万里陶器造図 二

人々



▲ 越中国鉄物細工之図

公益財団法人 味の素食の文化センター

第三回企画展テーマ

日本のものづくり—明治の殖産興業

味の素食の文化センターが三代歌川広重筆『大日本物産図会』全一八図を描いて収蔵したことを記念し、令和六年(二〇二四)より三カ年連続で「大日本物産図会」にみる「食」「時代」「人々」展を開催してまいりました。第一回「日本の食文化」、第二回「海の恵み 山の恵み」に続き、いよいよ最終年度となる第三回企画展のテーマは「日本のものづくり—明治の殖産興業」です。

明治一〇年(一八七七)開催の第一回内国勸業博覧会には、高岡(越中国)の銅器や福岡(筑前国)の博多織、佐賀(肥前国)の伊万里焼など、日本各地のありとあらゆる名産品が集まりました。同博覧会には「大日本物産図会」も出品されており、本作を通覧してみると、江戸時代からの伝統を受け継ぎつつ、明治に入って飛躍的に発展した数多くの産業が紹介されていることに気付かされます。

本展では「大日本物産図会」全一八図から一五図を厳選し、「食とものづくり」、そして「明治のものづくり」という二章構成で作品を紹介することで、

今から約一五〇年前の博覧会を体験するかの如く、日本の食文化と明治の経済を支えた手仕事の様相に迫ります。



東京錦絵製造之図



安芸国嚴島楊枝ヲ繋図



泉州堺打物見世之図



同国(陸前国)松島景並埋木細工之図

企画展の開催にあたり

味の素食の文化センターでは食文化にかかわる様々な企画展を開催しており、2024年度より『大日本物産図会』の企画展を3年連続で実施しています。監修者に東京藝術大学大学美術館の曾田めぐみ氏を迎えて全118図の意味を再考し、各年のテーマに沿って初めてでも楽しく、わかり易く展示いたします。明治という時代が持つエネルギーや人々の活気あふれる姿を、展示や図会そのものから感じていただければ幸いです。

錦絵「大日本物産図会」とは?

「錦絵」とは、江戸時代中期に発展した多色摺りの浮世絵版画で、明治時代後期にいたるまで江戸・東京の名産品として長く親しまれました。

「大日本物産図会」は、明治10年(1877)の第1回内国勸業博覧会に併せて制作された錦絵の揃物です。三代歌川広重(1842-94)が絵筆を揮い、錦榮堂萬屋の大倉孫兵衛から出版されました。日本各地の名産物の生産にたずさわる人々の働く姿を描き出しており、全118図が知られています。

関連プログラム

企画展監修者によるスライドレクチャー 〈参加無料〉

- 日 時 / 10月31日(土) 10時30分～11時30分
- 会 場 / 食の文化ライブラリー 1階閲覧室
- ※事前申込制、定員制限あり。詳細はHPをご覧ください。

▶本展監修者の曾田めぐみ氏(東京藝術大学大学美術館)が、『大日本物産図会』の魅力や展示のポイントをスライドで解説します。



公益財団法人
味の素食の文化センター

食文化展示室
(「食の文化ライブラリー」2階)

- 観 覧 料 / 無料 ●開 館 日 / 月曜日～土曜日
- 開館時間 / 午前10時～午後5時
- 休 館 日 / 日曜日・祝日、年末年始、図書整理期間、臨時休館日

[公益財団法人 味の素食の文化センター 食の文化ライブラリー/食文化展示室]
〒108-0074 東京都港区高輪3-13-65 味の素グループ高輪研修センター内
TEL 03-5488-7318(事務所)
TEL 03-5488-7319(食の文化ライブラリー/食文化展示室)
FAX 03-3445-7965

HP <https://www.syokubunka.or.jp> f <https://www.facebook.com/ajishokubunka/>



都営地下鉄浅草線 高輪台駅……………A1出口より徒歩4分
JR・京急 品川駅……………高輪口より徒歩15分
JR・東急・都営地下鉄浅草線 五反田駅……………東口より徒歩15分
都営バス・ちいバス「高輪三丁目」停留所……………徒歩2分
※駐車スペースはございませんので、お車等のご来館はご遠慮ください。